

今冬の需給見通しと節電のお願いについて

平成23年11月1日
関西電力株式会社

目次

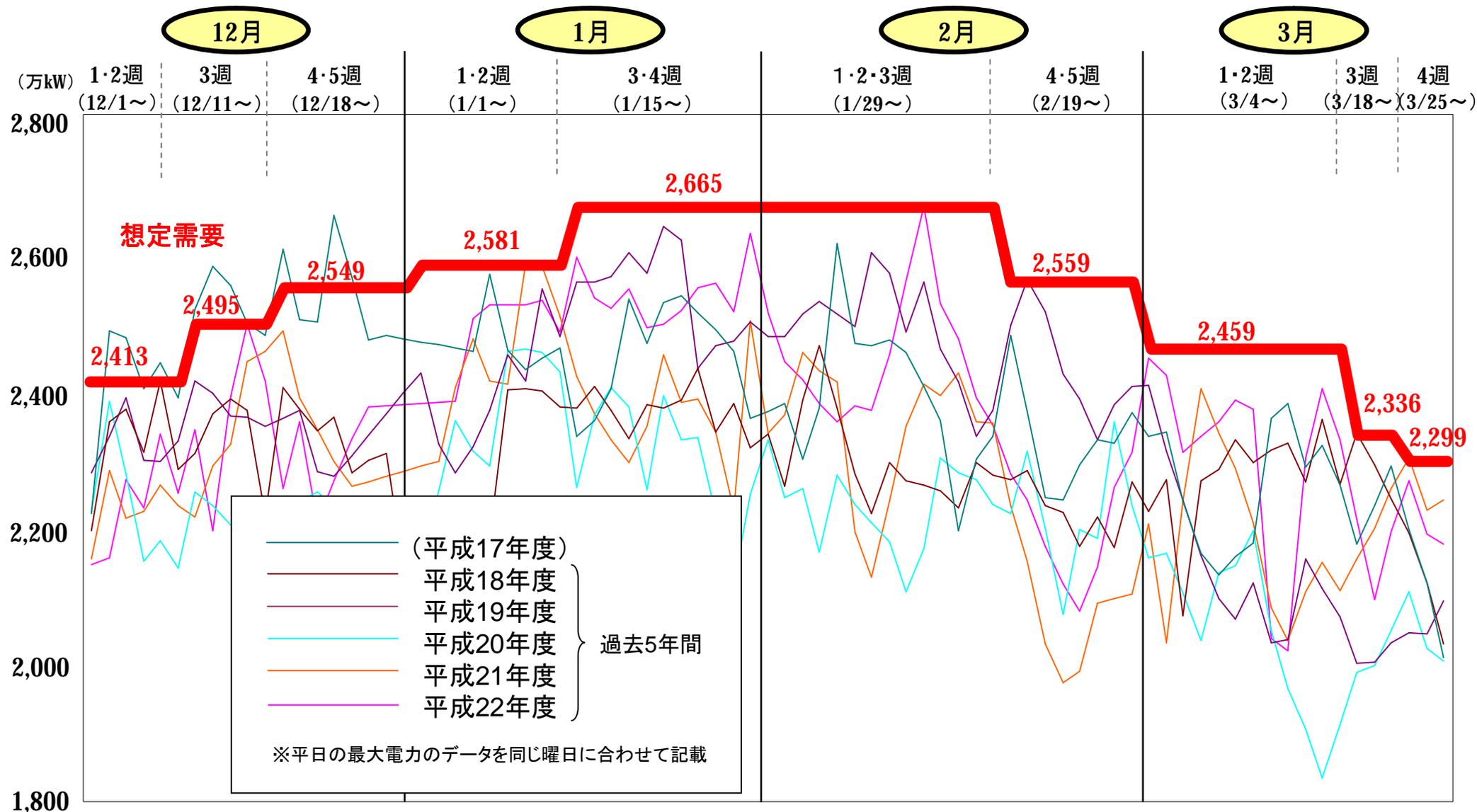
1. 需要想定のお考え方	1	
2. 供給力見通し		
(1) 今冬の供給力確保の状況(2月)	2	
(2) 供給力確保の取組み状況	3	~ 5
(3) 今冬における揚水発電可能量	6	
3. 今冬の需給見通し	7	~ 8
4. お客さまへの節電のお願い		
(1) 節電をお願いする量の考え方	9	
(2) 節電をお願いする期間の考え方	10	
(3) お客さまへの節電のご協力をお願い	11	
(4) ご家庭のお客さまへのご協力をお願い	12	
(5) 業務用・産業用のお客さまへのご協力をお願い	13	
(6) お客さまごとの節電方法の周知方法	14	

需要想定の方

今冬の需要想定の方

○当社は今冬の需要を想定するにあたって、まずは『平成22年度ピーク実績』と『平成23年度ピーク見通し』のいずれか高い方を想定値としています。

○さらに、よりきめ細やかな需要想定とするため、過去5年間の最大電力実績から週単位に細分化しております。



供給力見通し

今冬の供給力確保の状況(2月)

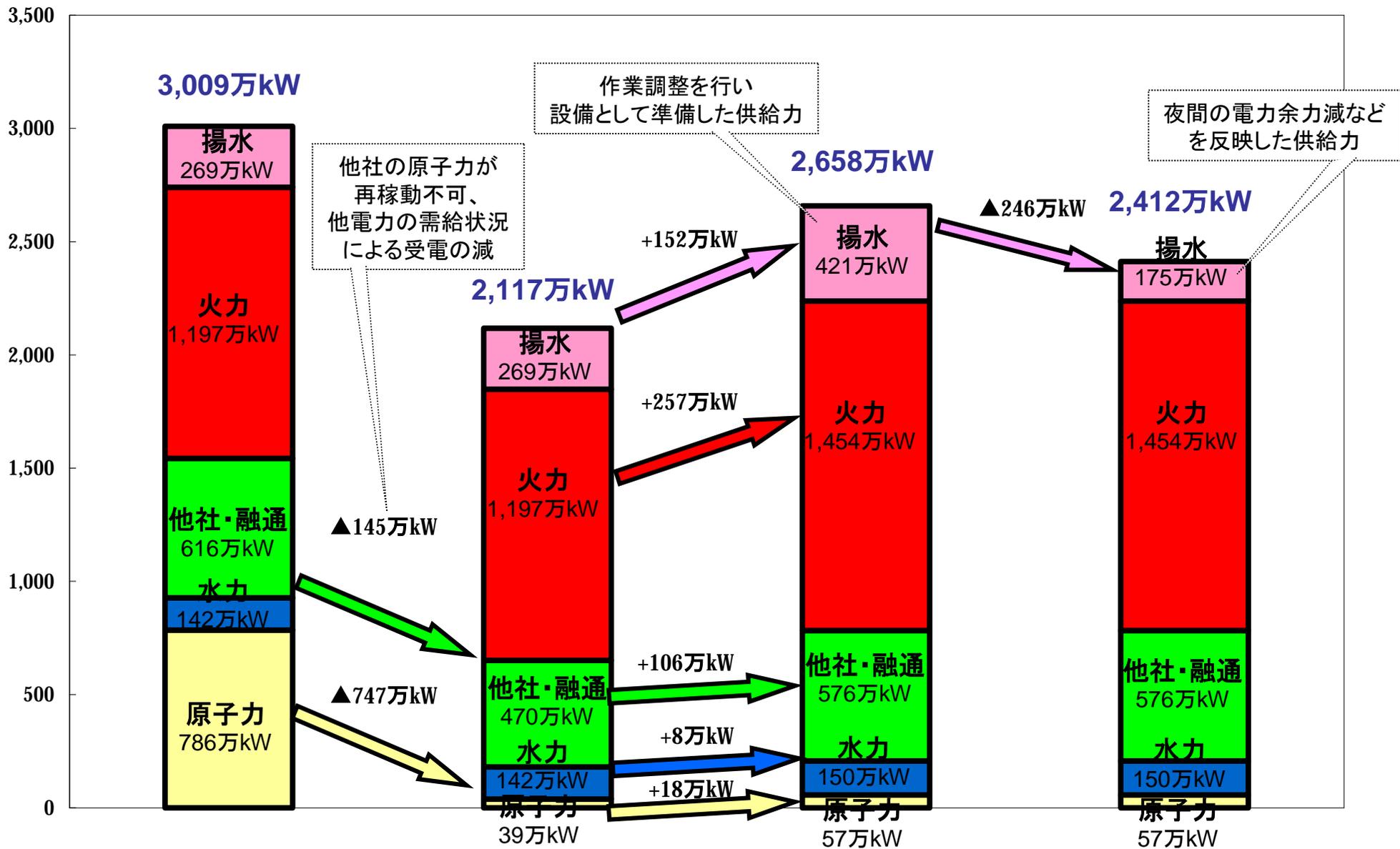
供給力
(万kW)

H23年度供給計画

原子力停止による影響

作業調整・追加調達

揚水能力不足



供給力確保の取組み状況(自社火力)

概要		取組内容	供給力(発電端:万kW)			
			12月	1月	2月	3月
最大供給力		1,461				
現状の見込み		1,426	1,454	1,454	1,454	
供給計画		1,190	1,235	1,197	1,160	
供給からの増減	小計		+236	+219	+257	+293
	定期検査、作業内容の見直し	定期検査項目の一部先送りや作業内容の見直しにより、原則実施しません ・舞鶴1号機 ・海南3号機 ・赤穂1号機 ・堺港1、3号機 ・姫路第二4号機 ・南港1、3号機 ・姫路第一5号機 ・御坊3号機 ・関空エネルギーセンター2号機	+224	+206	+244	+281
	火力発電所出力向上運転		+10			
	大気温の精査によるコンバインドサイクル出力の見直し		+9			
	堺港2号機同機種対策	制約解消に向けて取り組みます	▲8	▲7	▲7	▲7

※四捨五入のため合計が合わないことがあります。

供給力確保の取組み状況(自社水力)

4

水力

概要	取組内容	供給力(発電端:万kW)				
		12月	1月	2月	3月	
最大供給力		155	158	154	163	
現状の見込み		148	153	150	157	
供給計画		146	150	142	145	
増減	小計	+2	+3	+8	+13	
	定期検査、作業内容の見直し	安全上必要な作業を除き、原則実施しません	+5	+6	+12	+16
	台風12号による設備被害	長殿、船津発電所他11箇所	▲3	▲3	▲4	▲3

揚水

最大供給力		443				
現状の見込み		306	194	175	154	
(夜間の汲み上げ量不足がない場合)		(443)	(443)	(421)	(443)	
供給計画		331	326	269	273	
増減	小計	▲25	▲132	▲94	▲119	
	定期検査、作業内容の見直し	安全上必要な作業を除き、原則実施しません	+112	+117	+152	+170
	夜間の汲み上げ量不足による		▲137	▲249	▲246	▲289

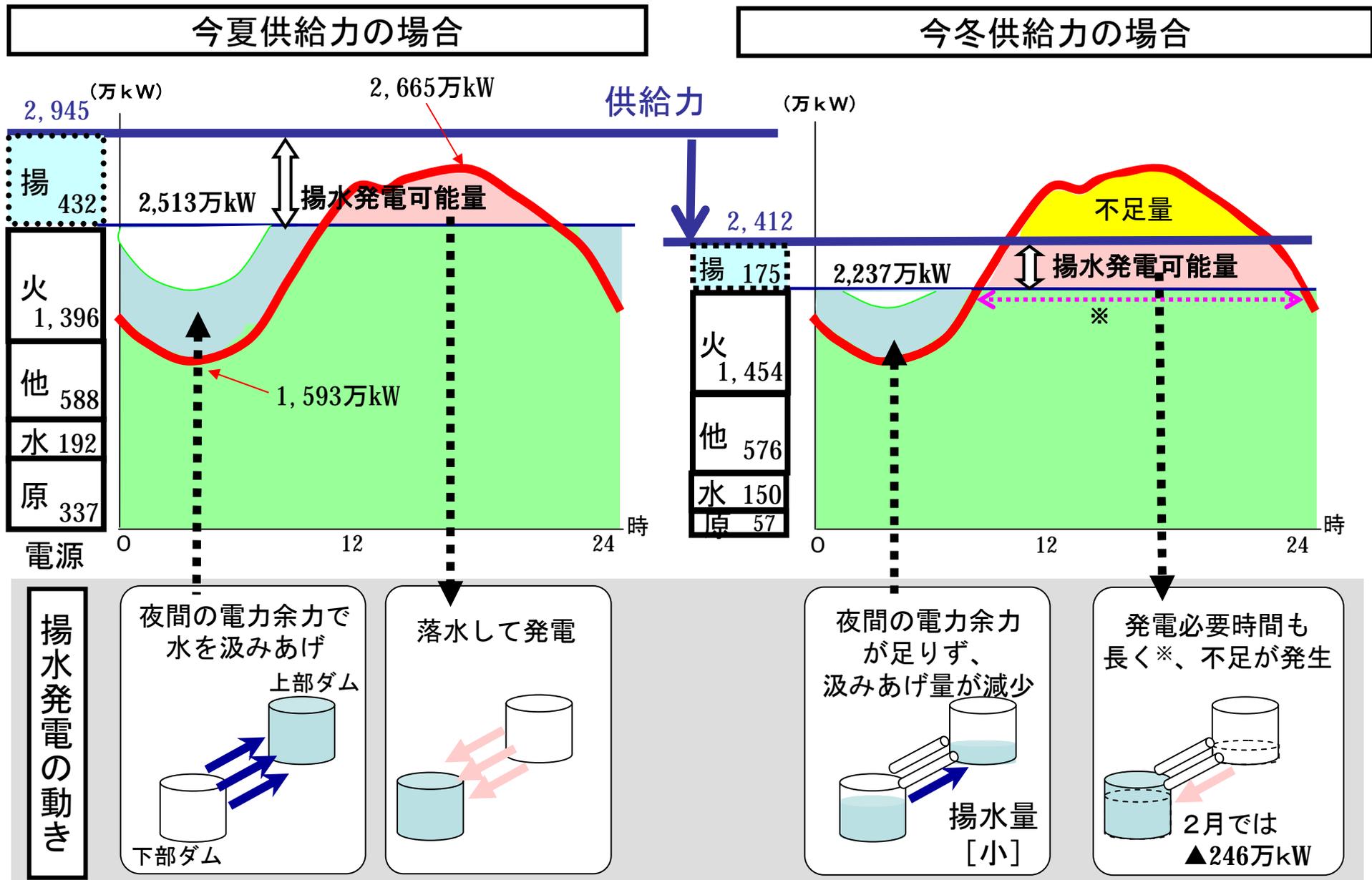
※四捨五入のため合計が合わないことがあります。

供給力確保の取組み状況(原子力、他社・融通)

原子力			供給力(発電端:万kW)			
			12月	1月	2月	3月
概要	取組内容					
最大供給力			977			
現状の見込み			144	87	57	0
供給計画			742	733	786	840
増減	定期検査、作業内容の見通し	小計	▲598	▲646	▲729	▲840

他社・融通			供給計画からの追加(発電端:万kW)			
項目	取組内容		12月	1月	2月	3月
現状の見込み			539	588	576	501
供給計画			546	629	616	585
供計からの増減	小計		▲7	▲40	▲39	▲84
	他の電力会社からの応援融通の受電	今夏同様、最大限の確保に向け、各社と調整を実施	+38	+58	+58	+31
	自家発等からの電力調達	今夏同様、最大限の確保に向け、各社と相談を開始	+41	+46	+48	+46
	他事業者の原子力停止、他電力の需給状況による融通の中止	日本原電敦賀2号機の停止などによる融通の中止	▲86	▲145	▲145	▲161

※四捨五入のため合計が合わないことがあります。



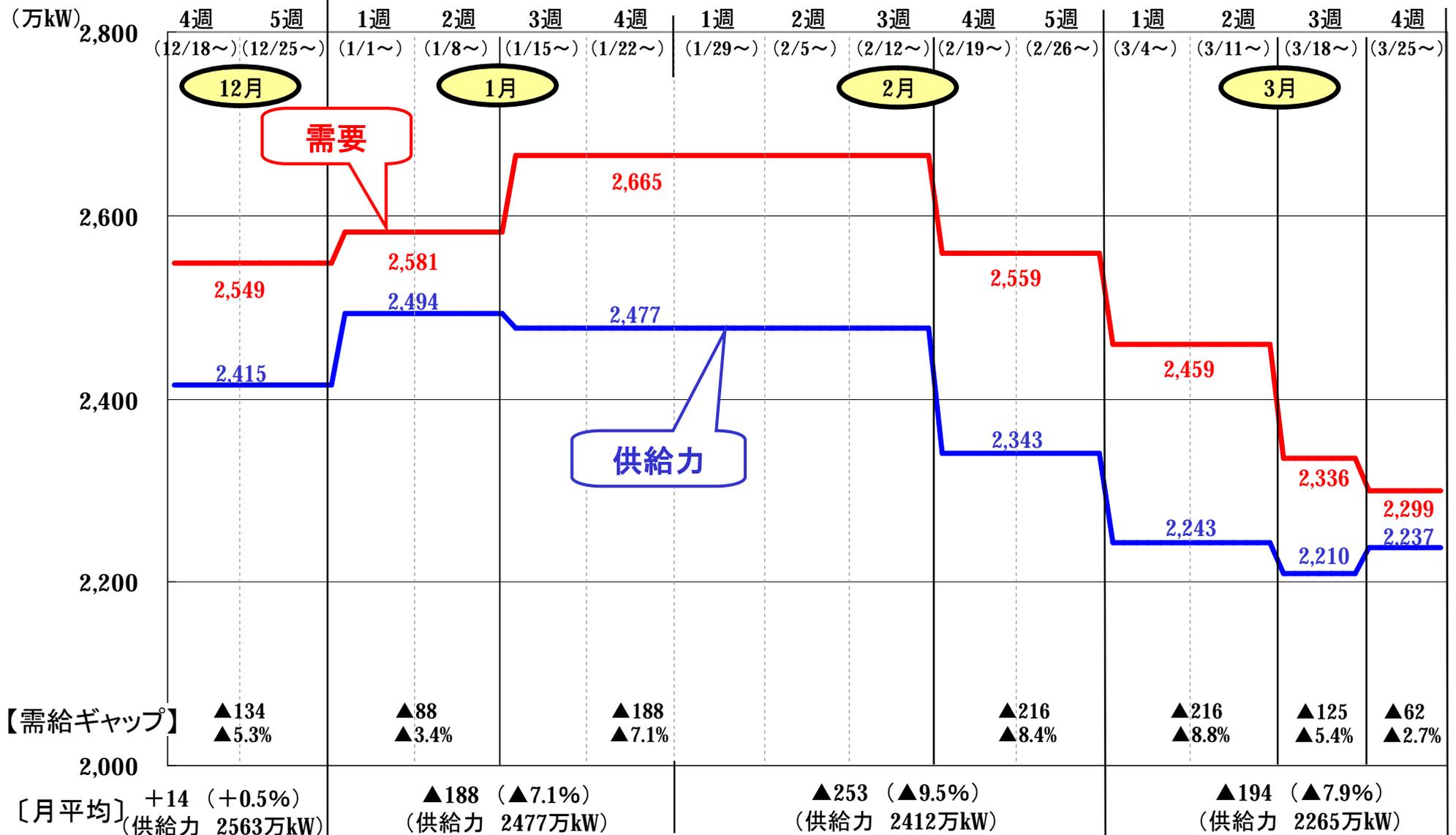
(注) 今夏と今冬の差異をご理解いただきやすくするため、本資料における電力需要カーブは、昨年度の冬季ピーク発生日(平成23年2月14日)のものを使用しています。

今冬の需給見通し

今冬の需給見通し(1)

○今冬の需給見通しは、下のグラフのとおりです。供給力には、火力・水力発電所の補修調整、他社からの融通、自家発からの受電等を既に織込んでおります。(電源トラブルも全く無い前提)

○今冬はこれらの追加供給力を考慮したとしても、供給力が需要を下回る見通しです。



今冬の需給見通し(2)

8

発電端: 万kW

	12月	1月	2月	3月
最大電力需要	2,549	2,665	2,665	2,459
供給力	2,563	2,477	2,412	2,265
予備力	+14 +0.5%	▲188 ▲7.1%	▲253 ▲9.5%	▲194 ▲7.9%
予備力(必要予備率3%考慮)	▲61 ▲2.4%	▲261 ▲9.8%	▲324 ▲12.1%	▲260 ▲10.6%

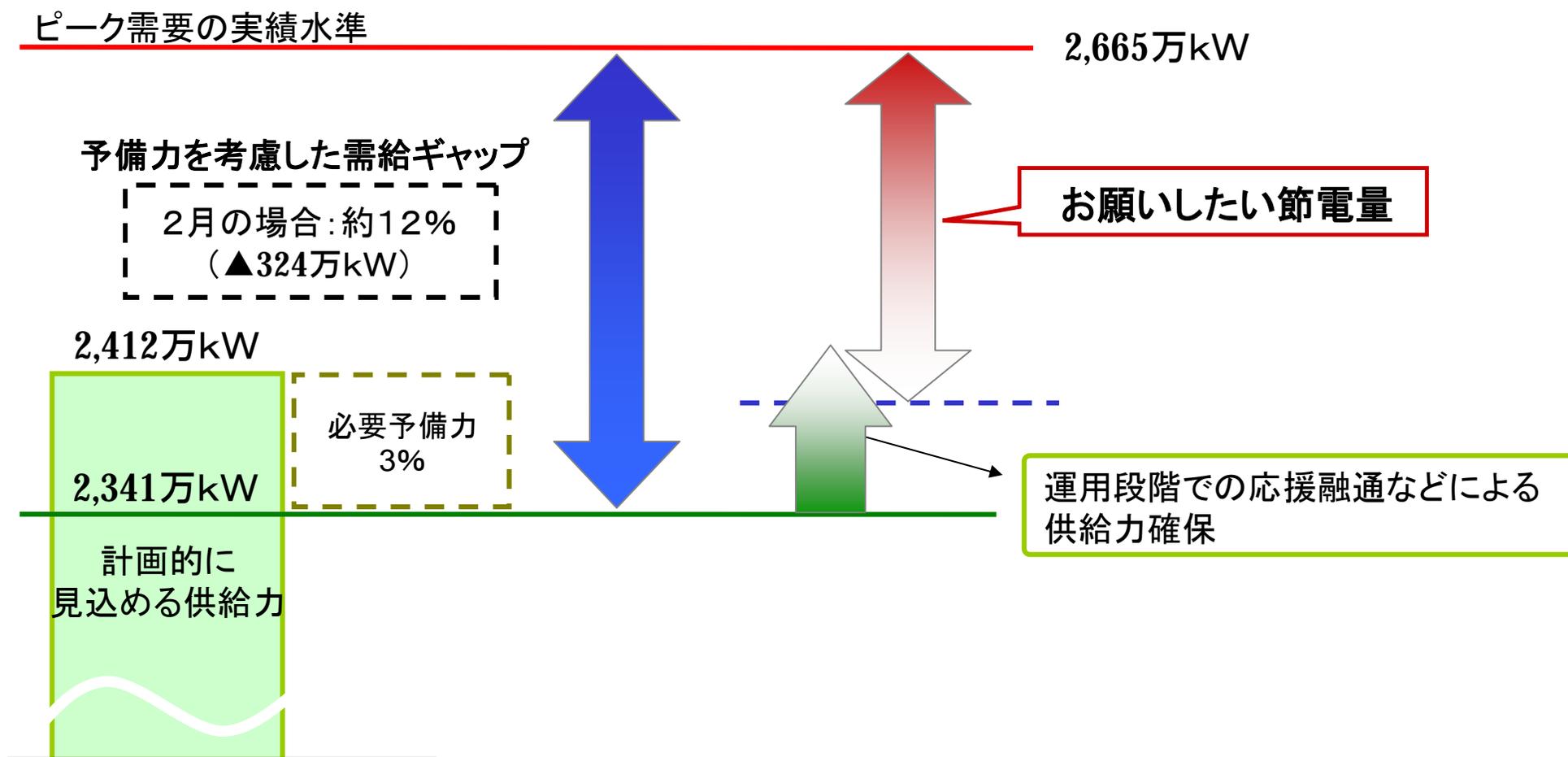
	4・5週	1・2週	1月3週～2月3週	4・5週	1・2週	3週	4週
最大電力需要	2,549	2,581	2,665	2,559	2,459	2,336	2,299
供給力	2,415	2,494	2,477	2,343	2,243	2,210	2,237
予備力	▲134 ▲5.3%	▲88 ▲3.4%	▲188 ▲7.1%	▲216 ▲8.4%	▲216 ▲8.8%	▲125 ▲5.4%	▲62 ▲2.7%
予備力(必要予備率3%考慮)	▲205 ▲8.0%	▲161 ▲6.2%	▲261 ▲9.8%	▲284 ▲11.1%	▲282 ▲11.5%	▲190 ▲8.1%	▲127 ▲5.5%

供給力内訳	揚水	306	194	175	154
	火力	1,426	1,454	1,454	1,454
	他社・融通	539	588	576	501
	水力	148	153	150	157
	原子力	144	87	57	0

お客さまへの節電のお願い

予備力を考慮した需給ギャップを解消する取組みが必要ですが、運用段階での応援融通などによる供給力確保の効果と一定の裕度※を考慮した水準として、10%以上の節電をお願いしたいと考えております。

※:お客さまのご事情に応じた節電の取組みがあることを前提とした一定の裕度が必要



今冬の節電期間は、大飯発電所2号機停止後の12月19日から、春を迎え需要が緩み需給ギャップが改善するまでの3月23日まで節電をお願いしたいと考えております。

需給ギャップ

▲10%

▲5%

0%

12月

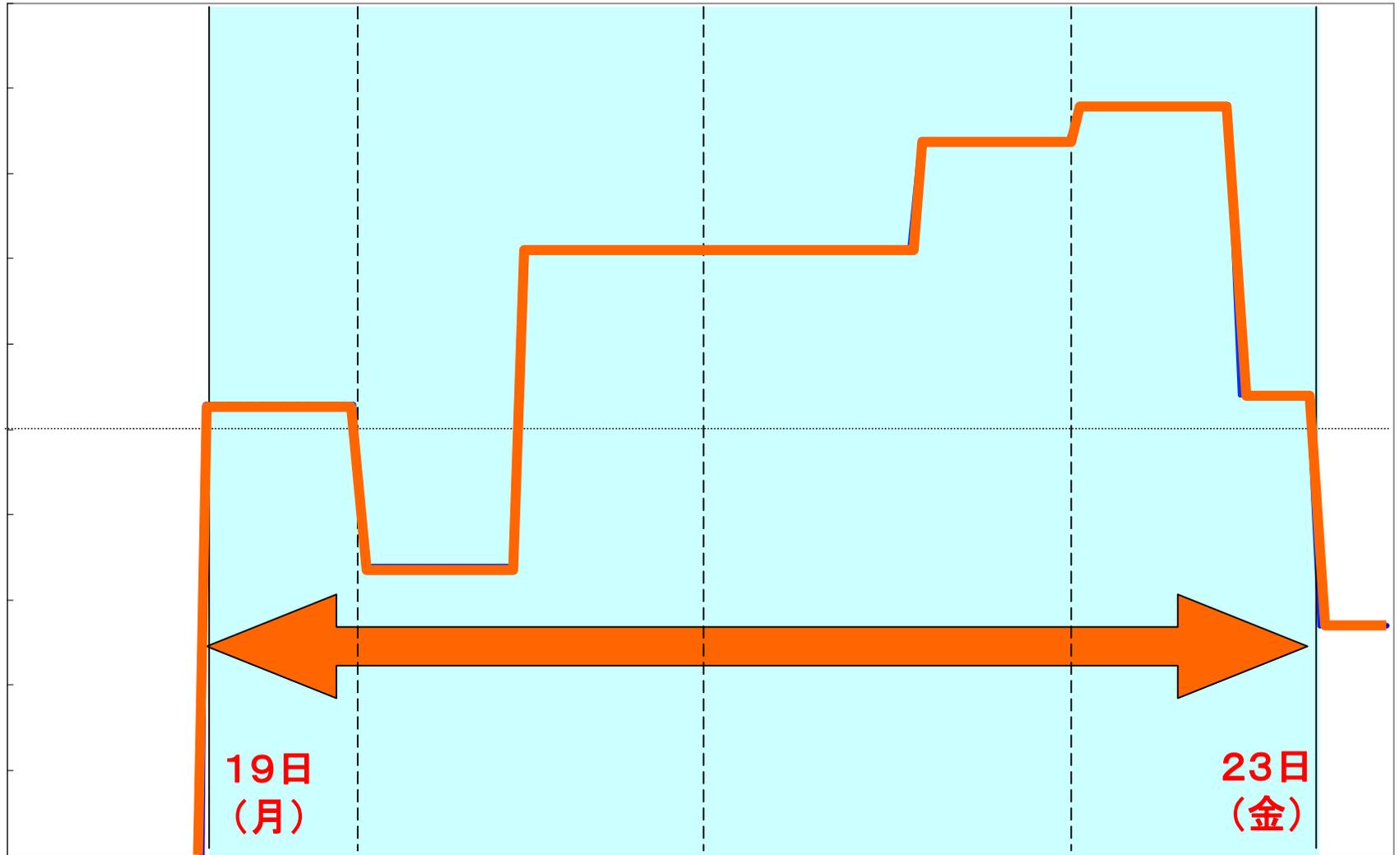
1月

2月

3月

19日
(月)

23日
(金)



12月19日～3月23日の平日（12月29日～1月4日を除く）、**9時～21時の間、10%以上^(※)の節電のご協力をお願いいたします。**

節電にあたっては、ご家庭では健康に影響のない範囲で、法人のお客さまでは病院や鉄道などライフライン機能等の維持に支障が生じない範囲や生産活動への実質的な影響が生じない範囲で、節電にご協力をお願いいたします。

（その場合には、お客さまの業務部門（オフィス部門等の事務・間接部門）で、さらに一層のご協力をお願いいたします。）

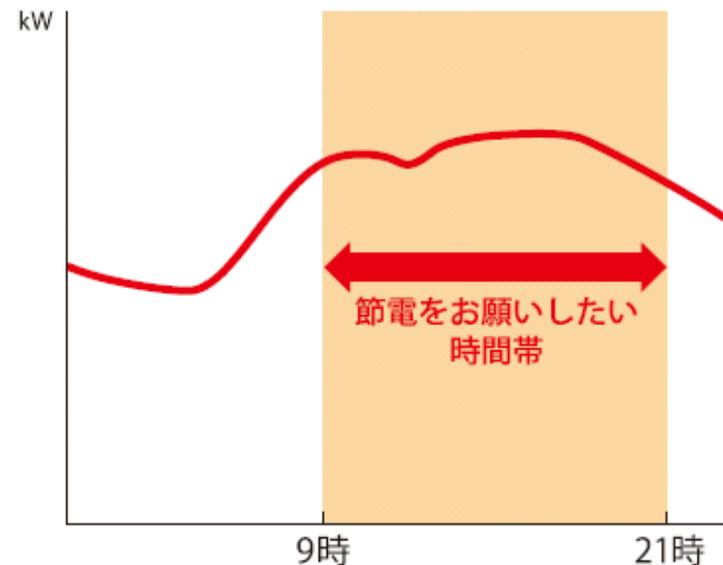
また、気温の状況等により、さらに需給が逼迫することも考えられます。その際には、でんき予報や一斉メール等を通じて、一層の節電のお願いをさせて頂く場合もございます。重ねてご理解・ご協力をお願いいたします。

※ 前年同月の使用最大電力を基準にする。

□冬の平日の電気の使われ方(全体)

冬の電力需要は、平日の日中（14時頃）にピークが先鋭化する夏に比べると、ピークは朝から夜にかけて長くなだらかになります。

□冬の平日の電気の使われ方(イメージ)



平日9～21時、特に家庭でのご使用の増える夕方以降の時間帯(18～21時)の節電にご協力をお願いします。

夕方以降の時間帯では、エアコンなどの低めの温度設定や、不要な照明の消灯が効果的です。また、長時間にわたって節電をお願いしている今冬では、冷蔵庫の設定温度を変えるなど、一度設定すれば自動的に節電につながる方法も効果的です(当社ホームページなどに掲載予定の「ご家庭における冬の節電のお願い」参照)。

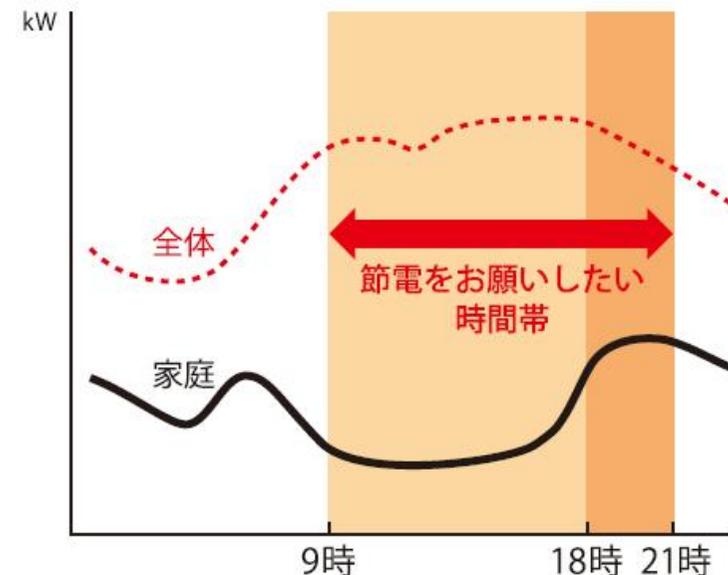
また、毎月の「電気のご使用量のお知らせ」で前年同月との比較ができますので、節電効果の確認の目安として御活用ください。
 なお、暖房器具の使用抑制にあたっては、健康への影響に十分ご注意ください。

□冬の平日の電気の使われ方(家庭)

ご家庭のお客さまの電力需要は、朝の起床時頃に高くなります。

また、帰宅される夕方より増えはじめ、全体の電力需要に占める割合も高くなります。

□ご家庭の冬の平日の電気の使われ方(イメージ)



※経済産業省「冬期の家庭の節電対策メニュー」より

[業務用]

不要な照明の消灯や空調の抑制などを中心に節電にご協力をお願いいたします。業務用のお客さまは、業種・業態ごとに電気の使われ方は様々です。業種ごとに用意したパンフレットをご活用頂き、節電にご協力をお願いいたします。

[産業用]

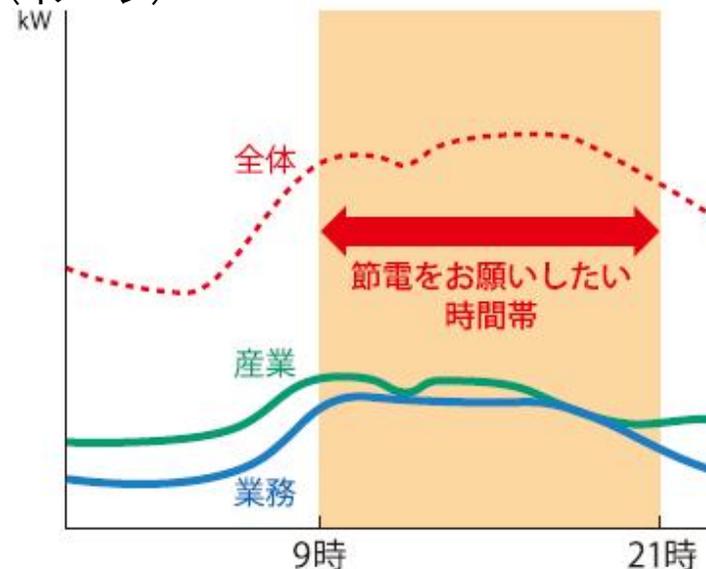
不要な照明の消灯や空調の抑制などの一般設備を中心とした機器の使用抑制による取組みや、自家発電設備の活用などによる電力使用量の抑制、また、料金メニューの活用等による操業シフト(平日から休日への変更など)等により、節電にご協力をお願いいたします。

□冬の電気の使われ方(業務用・産業用)

業務用および産業用のお客さまの電力需要は、事業活動が始まる朝から夕方にかけて、一定の高い水準で推移します。

(産業用のお客さまでは、お昼休みの12時頃には電力需要は一旦下がります。)

□法人のお客さまの冬の平日の電気の使われ方(イメージ)



※資源エネルギー庁推計データより

	お願いする節電対策	周知方法
家庭 (一般)	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンなどの暖房機器の低めの温度設定 ・不要な照明の消灯 ・冷蔵庫の控えめの温度設定 ・テレビ画面の明るさを控えめに設定 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシの投函・検針票によるお知らせ(全数) ・マスメディアの活用 (テレビCM、ラジオCM、新聞広告など) ・当社ホームページからの情報発信 ・ポスター、垂幕の掲示 <p style="text-align: right;">など</p>
大口 (業務用・産業用)	<ul style="list-style-type: none"> ・空調、照明などの機器の使用抑制 ・操業日の平日から休日への振替 ・自家発電設備の活用 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問(全数) <p style="text-align: right;">など</p>
小口 (業務用・産業用)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 料金メニュー面からの節電促進 ✓ 需給調整契約の拡充・加入懇願 </div> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイレクトメールの送付(全数) <p style="text-align: right;">など</p>

□ 節電に関するお問い合わせ

【節電お問い合わせ専用ダイヤル】 0120-911-777 (通話料無料)

- 受付期間 本日～節電期間終了日
 - 受付時間 平日(月～金)9:00～20:00 土日祝 9:00～17:30
- ※耳やことばが不自由なお客さまについては、FAXによる受付可
 FAX 0120-911-011 <受付時間 平日(月～金)9:00～17:30>
 ※12月29日(木)～1月4日(水)の電話・FAXの受付時間は、土日祝と同様とさせていただきます。

【関西電力ホームページ】

- パソコンサイト <http://www.kepco.co.jp/>
- 携帯サイト <http://kanden.jp>